

平成23年度 移動支援及び就労支援部会協議内容等報告書

1. 部会のテーマ

「福祉施設利用者の一般就労への移行について」

「各事業所における就労に関する現状と課題について」

2. 開催スケジュール

第1回 平成24年2月14日（火）…会場：市役所2階第1会議室

3. 主な協議内容

- ・第3期障害福祉計画（案）における「福祉施設利用者の一般就労への移行」について、事務局から説明。
 - 一般就労への移行を目標として、数値目標を設定していることについて
 - 各事業所の就労への取り組み及び実態について
 - 就業・生活支援センターでの就労支援活動の実態について

4. 今後の課題等

- ・目標を設定してしまうと、就労支援施設等に通われている方の最終目標が、一般就労になってしまうのではないかと。個別の障害特性や環境によっては、施設に通うことだけでもよいのではないかと。
- ・その人の特性によっては、午前だけ、休日だけというような活動リズムもある。そういったことも就労の一部だと認識する必要があるのではないかと。
- ・就労支援をしていくなかで、最も重要なのはどのようにして、その場所に定着させるかである。一般就労や施設に通うことになった後で、フォローしていくことが大事である。
- ・特に精神障害の方は、退院後すぐに就労や施設への通所の前に、医療や相談を含めた支援拠点を作る必要があるのではないかと。
- ・その人にあった支援をする。行政がきめた目標数値ではなく、その人ができる仕事なのか、やりたい仕事なのかを判断するのは誰が行うのか。目標だけが一人歩きしないよう、本人が望んでいないような支援にならないようにしなければならない。